

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年7月4日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	熊野市	代表者名	市長 河上 敢二
担当者部署	総務課	連絡先電話番号	0597-89-4111
担当者役職		担当者氏名	
住所	519-4392 三重県熊野市井戸町796		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中山 健太
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	RPAとはどういうものかということについて、宇城市さんの導入経緯・業務の事例・動画によるデモ等によりご説明いただき、理解を深めることができた。RPAについてはベンダー側の話聞く機会はよくあるが、実際に導入している自治体職員のお話を聞ける機会は少なく、今後の導入・運用を検討する中で大変参考になった。特に失敗事例については、参考になる貴重な情報だった。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年6月28日	14時00分	16時00分	10	110
3-2. 派遣場所	会場名	熊野市役所 第1会議室		最寄駅	熊野市駅
	所在地	三重県熊野市井戸町796			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	29人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	RPAを導入し有効に活用していくためには、各業務担当の職員の主体的な取り組みが必要と考えているが、職員がRPAを導入するイメージを持っていない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員それぞれが、RPAについて自分の業務に置き換えて考えられるように理解を深める。そのうえで、今年度中に試験的にRPAを導入し、検証を行う。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	職員がRPAの導入・活用を具体的にイメージできるよう、RPAが実際に動作するデモ等を交えた講演会を行っていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	別添のアンケート結果から、職員がRPAについてイメージを持ち、担当業務についてRPAが適用できるかどうか、具体的にどのような業務があるか等について考えられるように理解を深めることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 RPAについて理解でき、イメージがわいたという意見が多くあった。また、RPAを利用したいという前向きな意見が多く、適用したい業務について具体的な回答もあった。(回答内容は別紙「アンケート結果」のとおり)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	RPAの試験的な導入・検証を行い、来年度の導入に向け予算化を図る。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

